

平成26年2月17日

会 社 名 株式会社ワイレスゲート
(コード9419：マザーズ)
住 所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル4階
代表者 代 表 取 締 役 C E O 池田 武弘
問合先 IR室 室長 須永 直樹
(TEL. 03-6433-2045)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成 26 年 2 月 14 日 15：30～16：30
開催方法 対面による実開催
開催場所 大手町サンケイプラザ 311-312 号室 東京都千代田区大手町 1-7-2
説明会資料名 平成 25 年 12 月期 通期 投資に関する説明会

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

第10期 決算説明会

(2013年1月1日～12月31日)

2014年2月14日
株式会社ワイヤレスゲート
(東証マザーズ:9419)



連結業績ハイライト

1. 売上高、営業利益、経常利益、
当期純利益ともに**過去最高**！
2. 販路・サービスメニューの順調な拡大

連結業績サマリー

(百万円、%)

	2012年 通期実績 (連結)	2013年 通期実績 (連結)	増減	前期比
売上高	5,500	7,055	1,554	128.3%
営業利益	597	785	188	131.6%
経常利益	575	784	208	136.2%
当期純利益	423	483	59	114.1%

第10期 事業活動

主な事業活動

1. 2月6日
ケイ・オプティコムが提供する
「eoモバイル Wi-Fi スポット」追加
2. 6月
「ワイヤレスゲートWi-Fi」のオプション
サービス(電話リモートサポート)開始
3. 10月31日
WiMAX2+のサービス開始
4. 2014年1月
Wi-Fi環境イネーブラー事業の開始

オプションサービス

2013年6月よりサービス開始

プラン	月額料金	特徴
電話リモートサービス 	480円	PCやスマートフォンについて365日お問合せが可能 操作方法や活用方法などを電話やリモートでサポート

WiMAX2+

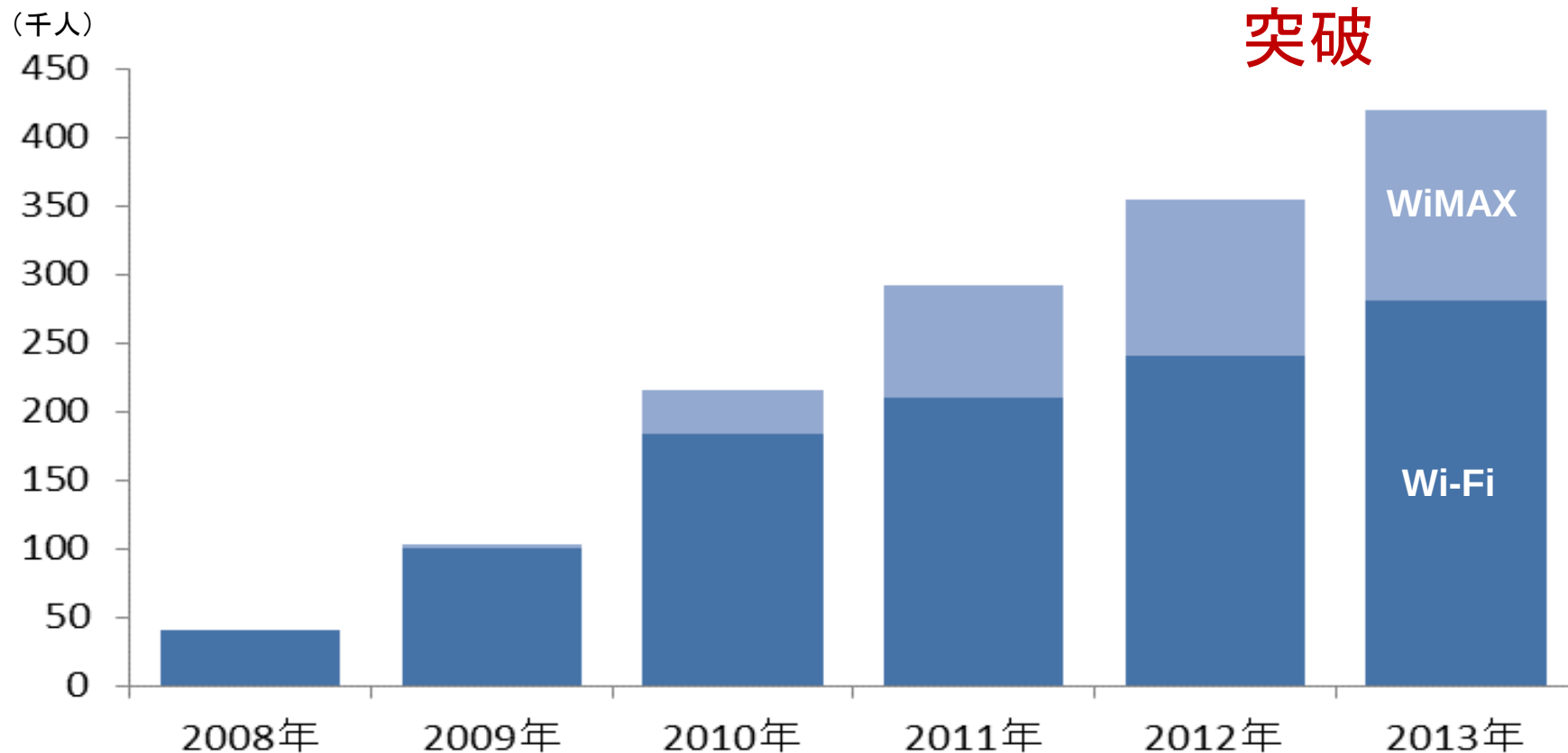
2013年10月31日よりサービス開始



プラン	月額料金	特徴
ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX ツープラス ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX 2+	※ 3,880円 ※2年契約でおトク割525円／月を適用の場合の月額料金（最大25か月）	3つのモードが利用可能 ▪ WiMAX2+（ハイスピードモード） ▪ WiMAX（ノーリミットモード） ▪ au4G LTE（ハイスピードプラスエリアモード） ・ハイスピードプラスエリアモード利用時は、月額1,055円が掛かります。

会員数の推移

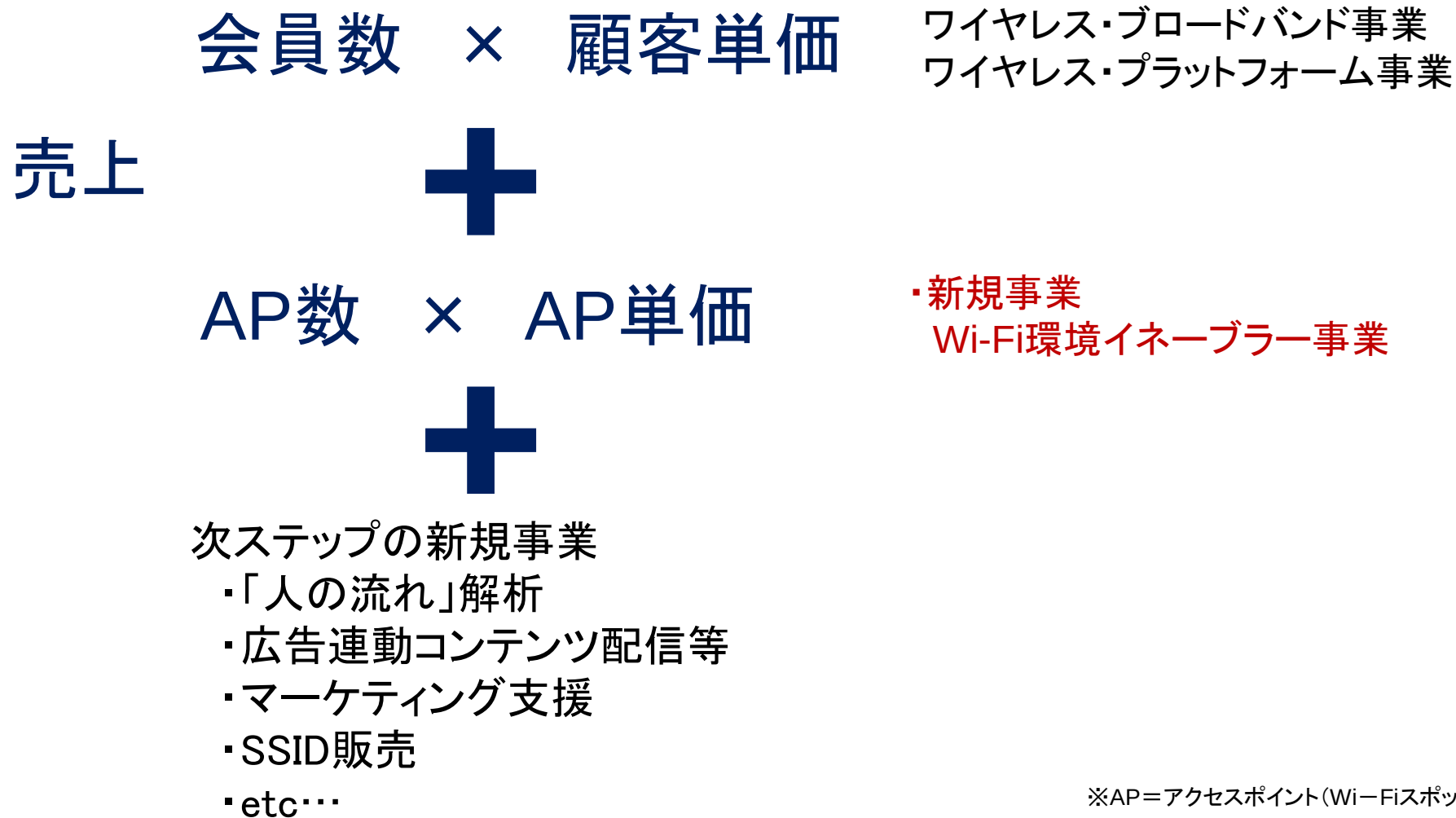
会員数42万人
突破



※各年ともに期末時点

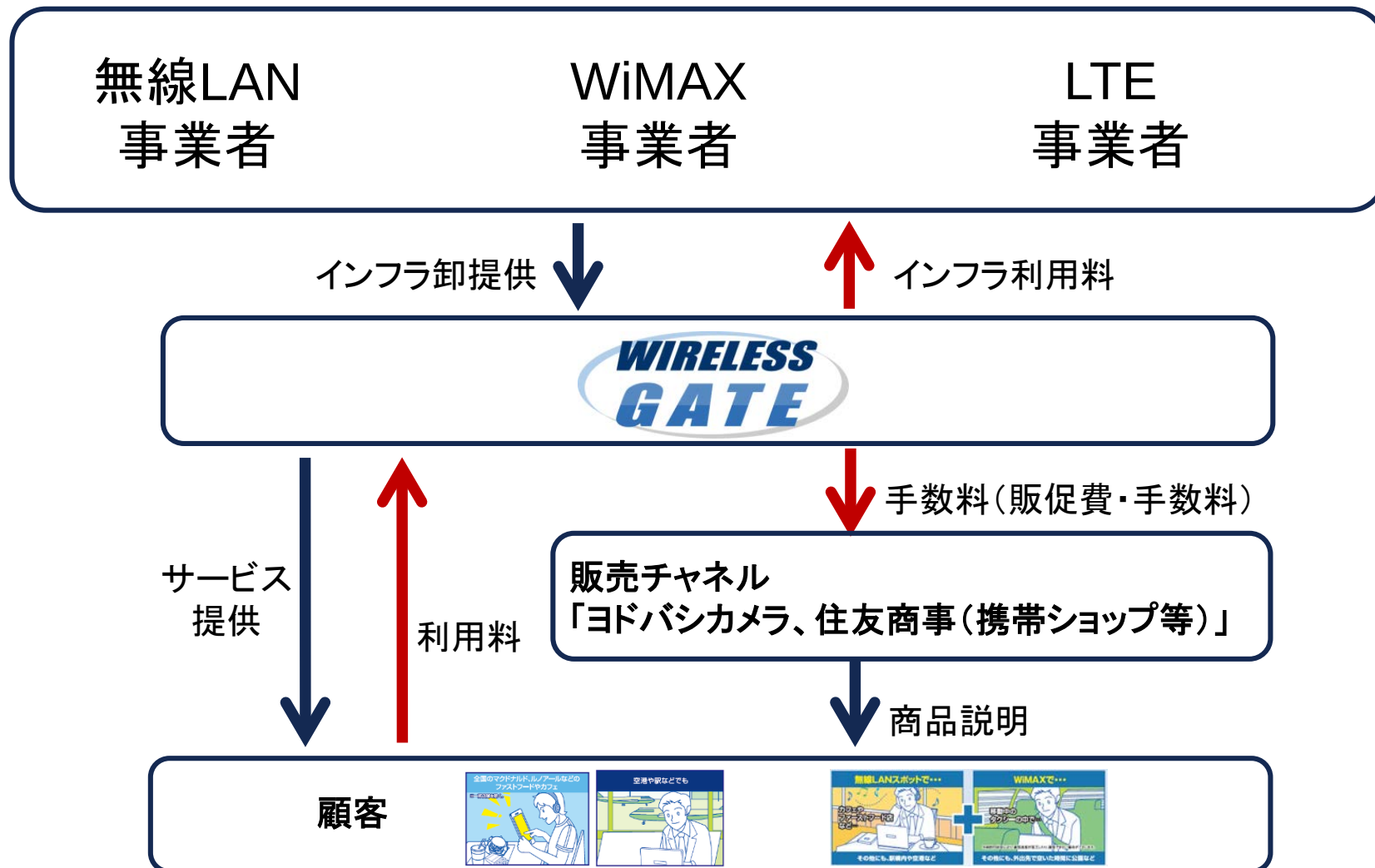
第11期 会社計画

当社 売上構造

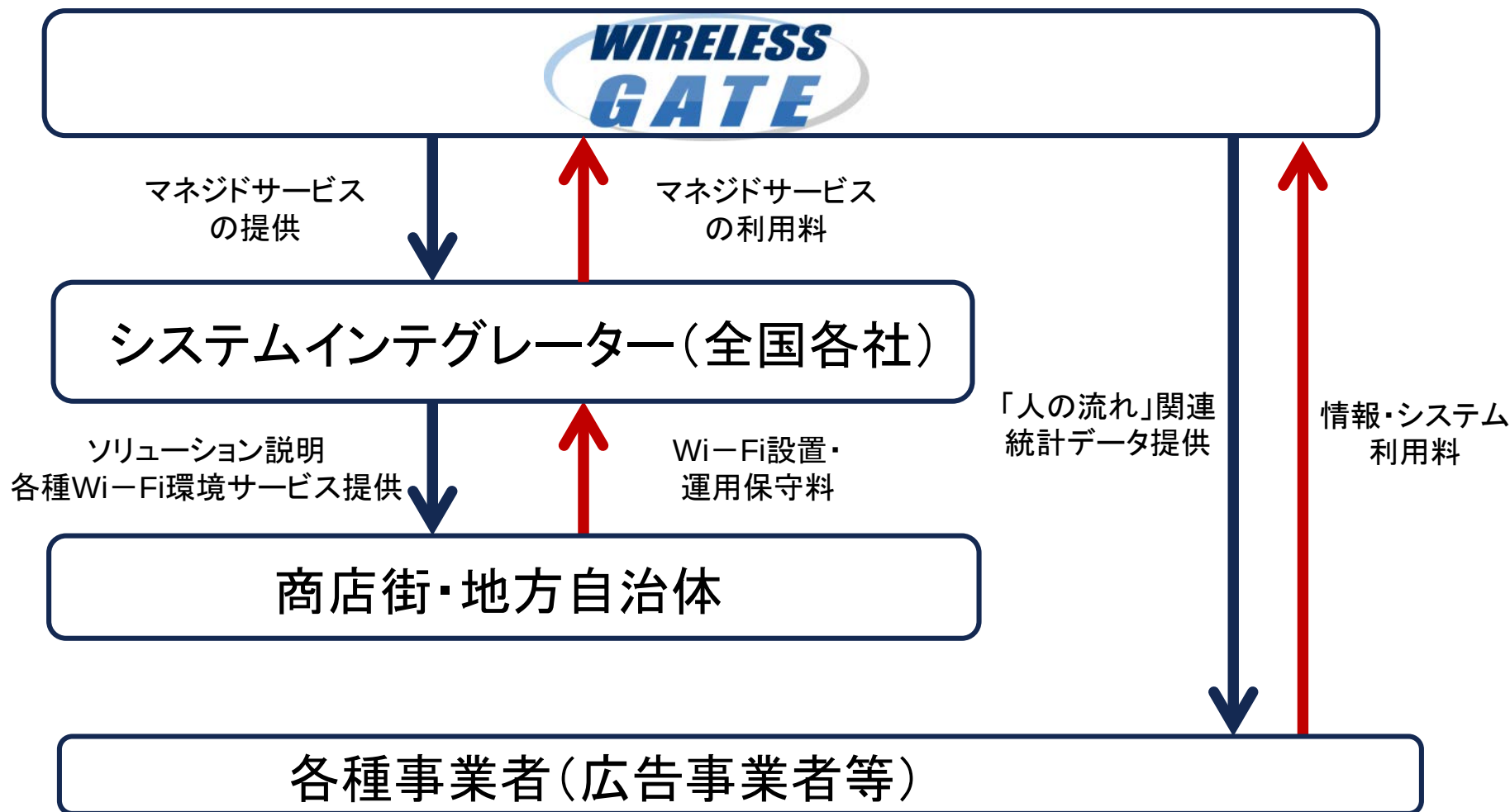


※AP＝アクセスポイント(Wi-Fiスポット)

ビジネス構造(ワイヤレス・ブロードバンド事業)



ビジネス構造 (Wi-Fi環境イネーブラー事業)



第11期会社計画のポイント

1. ワイヤレス・ブロードバンド事業の会員数
 - 会員数増加のペースは、第10期における既存チャネル（ヨドバシカメラ・携帯ショップ）と自社サイトがベース。
 - WiMAX2+の構成比率の上昇
2. 新事業（Wi-Fi環境イネーブラー事業等）

今回は考慮しない。進捗状況によっては、計画に好影響を与えることを期待している。
3. 販管費

事業領域の拡大に伴うコスト増
（人件費／若干名の人員増、地代家賃／フロア増床）

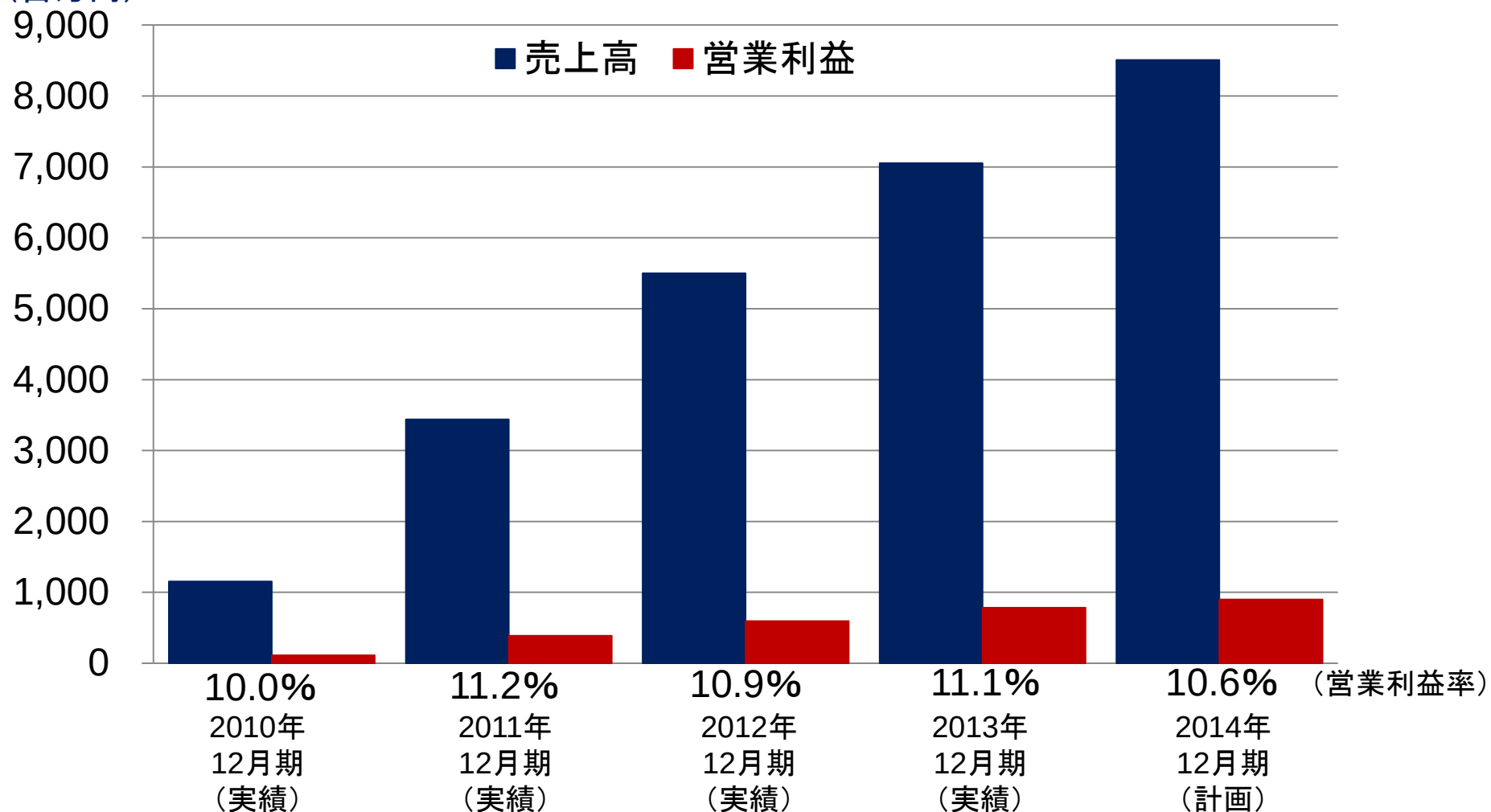
第11期会社計画(2014年12月期)

(単位:百万円、%)

決算期 単体 項目	2014年12月期 第2四半期累計期 間 (予想)		2014年12月期 通期 (予想)			2013年12月期 通期 (実績)	
		構成比		構成比	増減比		構成比
売上高	4,077	100.0	8,509	100.0	20.6	7,055	100.0
営業利益	414	10.2	900	10.6	14.6	785	11.1
経常利益	412	10.1	898	10.6	14.6	784	11.1
当期(四半期)純利益	258	6.3	543	6.4	12.5	483	6.8

業績推移

(百万円)



企業価値向上への取り組み①

- ・ワイヤレス・ブロードバンド事業
- ・ワイヤレス・プラットフォーム事業

累積会員数・顧客単価の拡大

- － 主力チャネルの拡販に加え、販売チャネルのさらなる多様化を目指す。
- － 顧客単価向上と顧客基盤拡大に向けたオプションサービスの追加投入
- － WiMAX2+へのシフト

企業価値向上への取り組み②

・Wi-Fi環境イネーブラー事業

協業先システムインテグレーター・提携パートナーの
拡大

- － 経済的かつ効率的にWi-Fi環境の構築を可能とするシステムインテグレーター向けソリューションを業界に先駆けて提供
- － 広告代理店、通信事業者等との提携により、新規事業を加速

外国人旅行者アンケート調査結果

旅行中困ったこととして、「無料公衆無線LAN環境」が36.7%と最も多い。

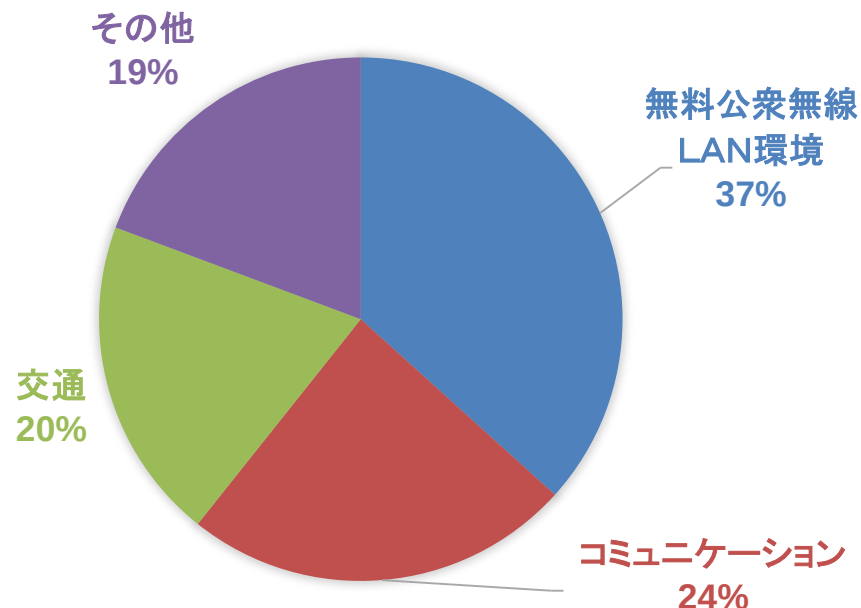
次に、「コミュニケーション」が24.0%、「目的地までの公共交通の経路情報の入手」

■旅行中困ったこと(MA)

旅行中困ったこと(MA)
N=479

0% 20% 40%

目的地までの公共交通の経路情報の入手	20.0%
公共交通の利用方法(乗り方)、利用料金	17.1%
公共交通の乗り場情報の入手	10.2%
公共交通の乗車券手配	6.1%
観光情報(見所、文化体験等)の入手	5.0%
観光チケット(入場券等)の入手	2.3%
飲食店情報の入手	11.5%
飲食店の予約	6.5%
宿泊施設情報の入手	2.1%
宿泊施設の予約	2.5%
ツアー・旅行商品情報の入手	1.5%
ツアー・旅行商品の予約	1.0%
割引チケット・フリー切符の情報の入手	9.4%
割引チケット・フリー切符の入手	5.0%
無料公衆無線LAN環境	36.7%
両替・クレジットカード利用	16.1%
外国語の通じる病院情報の入手	1.7%
地図、パンフレット(多言語)が少ない	9.8%
地図、パンフレットが分かりにくい	5.0%
観光案内所の数が少ない	4.0%
観光案内所の場所が分かりにくい	4.2%
ピクトグラム・サインが少ない	3.8%
ピクトグラム・サインが分かりにくい	4.4%
コミュニケーション	24.0%
その他	6.1%



※観光庁:第2回外国人観光案内所のあり方に関するWG
(平成23年11月1日)資料

Wi-Fi環境イネーブラー事業

クラウドにおいて:

- Wi-Fi環境サービス状態監視
 - ✓AP運用状況
 - ✓ユーザー使用状況
- 「人の流れ(動線)」

クラウド型
Wi-Fi環境
サービス
システム

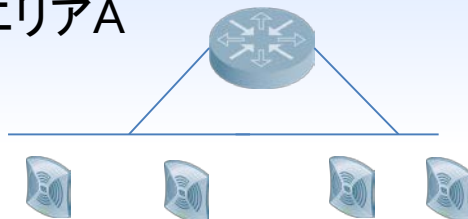
当社
データセンター

HTTPS

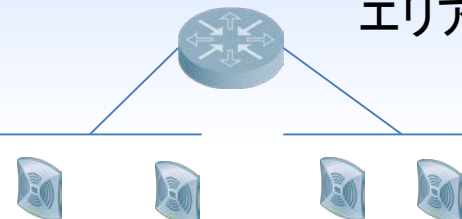
クラウドより:

- APIリモート設定
(設置時)
- SSID動的設定
- 優先接続指定

エリアA



エリアB

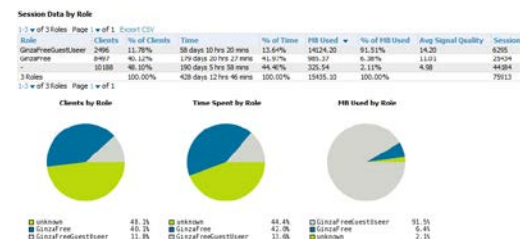
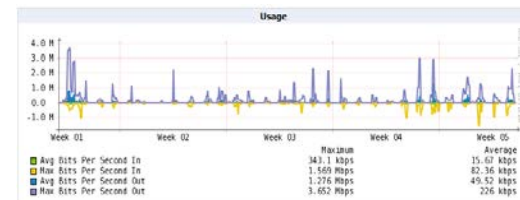


クラウドにおいてWi-Fi環境を「見える化」

- 無線環境の可視化
- ユーザー(デバイス・アプリケーションレベル)の通信状態の把握
- ログ蓄積、検索的抽出機能

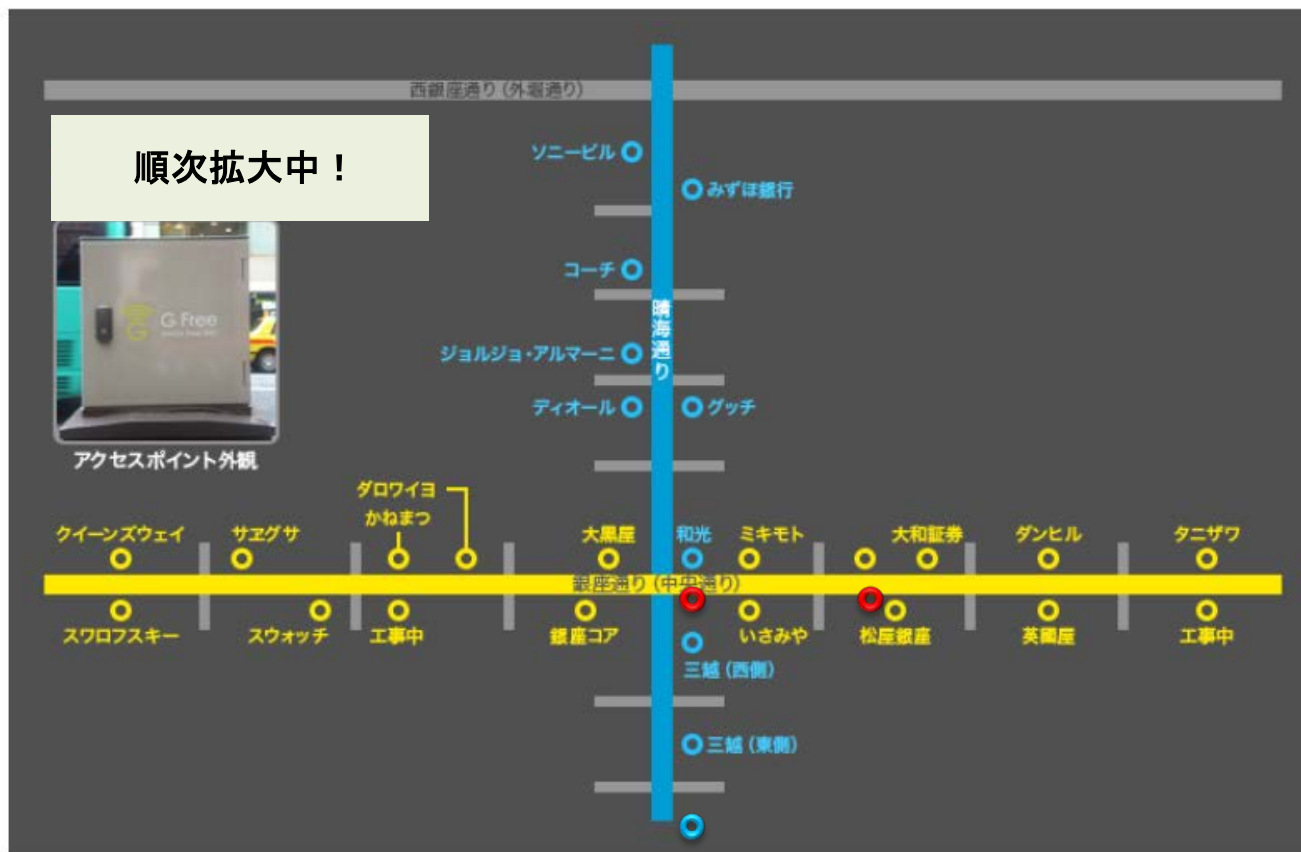


- クラウド側で一括しWi-Fi環境運用管理
- スケラブルで経済的
- 協業システムインテグレーターへサービス提供



銀座「G Free (Ginza Free Wi-Fi)」の運用開始

現在、中央通り及び晴海通りで運用中。今後他の銀座商店街通りで展開を予定
東京オリンピックに向け、将来的には「銀座全体を無線LAN化」！
全国自治体、商店街関係者の関心大



出典: <http://www.ginza.jp/archives/10285>

株主還元方針について

株式分割

- 平成25年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施
- 平成26年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施

株価推移(終値)

株価(円)



12/07/19 マザーズ上場

14/01/14
上場来高値 5,070円

12/07/19 上場日
上場来安値 452円

14/02/10
終値 3,540円
時価総額
354億4千4百万円

13/12/31
株主数 1,976名

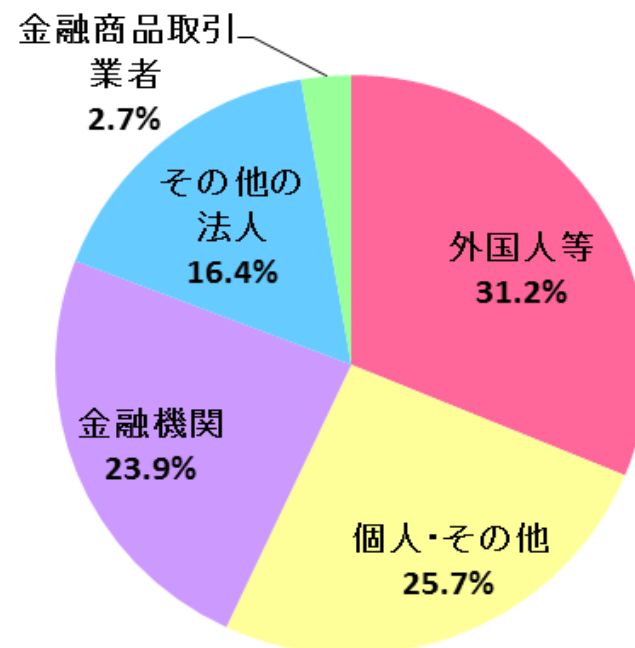
※分割考慮後の株価を記載しております。

大株主の状況・所有者別株式分布状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社ヨドバシカメラ	708,200	14.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	554,900	11.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	252,200	5.0
池田 武弘	245,400	4.9
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ エージェント ビーエヌワイエム エイエス イーエイ ダッチ ペンション オムニバス 140016	212,200	4.2
藤沢 昭和	200,000	4.0
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	182,800	3.7
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	133,100	2.7
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505041	120,000	2.4
坂巻 和彦	100,000	2.0

(注) 持株比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

発行済株式数
5,006,200株



(注) 2013年 12月31日時点

株主還元に関する考え方

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識しており、将来の持続的な成長に必要な内部留保を確保しつつ、財政状態及び経営成績並びに経営全般を総合的に勘案し、利益配当を行うことを基本方針としております。

上記方針に基づき平成25年12月期の期末配当金につきましては、1株当たり40円の普通配当に創立10周年の記念配当10円を加え、1株当たり50円を予定しております。

次期の配当予想につきましては、期末配当として1株当たり25円（平成26年1月1日付株式分割（1:2）を考慮した金額。当該分割前に換算すると50円）を予定しております。

当社の事業が計画通り進展しない等、当社の業績が悪化した場合配当を実施しない、あるいは予定していた配当を減ずる可能性があります。

第10期 配当

初配当

2013年12月期

期末配当実施予定

第9期無配→**第10期50円/株**

配当性向51.8%

第11期 配当

2014年12月期

期末配当実施予定

第10期25円/株(1:2株式分割考慮後)

→ **第11期25円/株**

配当性向46.1%

経営理念



「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」

第10期 決算説明会

DATABOOK

株式会社ワイヤレスゲート

前期比(2013年対2012年)

(百万円、%)

	2013年12月期 通期実績 (連結)			コメント	2012年12月期 通期実績 (連結)	
	実績	構成比	増減比		実績	構成比
売上高	7,055	100.0%	28.3%	会員数の増加による。(前期末比+7万人)	5,500	100.0%
売上総利益	2,165	30.7%	20.1%	同上	1,802	32.8%
販売費及び一般管理費	1,379	19.6%	14.5%	—	1,205	21.9%
支払手数料	1,004	14.2%	13.0%	会員数の増加に連動した増加による。 3名の人員増等による。 会員獲得に注力したため。	889	16.2%
人件費等	177	2.5%	26.5%		140	2.6%
販売促進費	83	1.2%	2.7%		81	1.5%
業務委託費	61	0.9%	8.3%		56	1.0%
その他	52	0.7%	38.7%		37	0.7%
営業利益	785	11.1%	31.6%	上記の結果による。	597	10.9%
営業外損益	-1	0.0%	-94.7%	—	-21	-0.4%
経常利益	784	11.1%	36.2%	上記の結果	575	10.5%
特別損益	—	—	—	—	0	0.0%
税引前純利益	784	11.1%	36.3%	上記の結果による。	575	10.5%
法人税等	301	4.3%	98.3%	—	151	2.8%
法人税、住民税及び事業税	317	4.5%	1437.1%	法人税の支払いに伴う増加	20	0.4%
法人税等調整額	-16	-0.2%	-112.5%	—	131	2.4%
当期純利益	483	6.8%	14.1%	上記の結果による。	423	7.7%

2013年12月期業績予想との差異

差異要因

販管費の増加 主にWi-Fi環境イネーブラー事業の準備に伴う費用等
 当期純利益 法人税等調整額を保守的に予算計上していたため

(百万円、%)

	2013年12月期 通期実績(連結)			2013年12月期 通期業績予想(連結)	
	実績	売上高 構成比	達成率	予想	売上高 構成比
売上高	7,055	100.0%	100.5%	7,017	100.0%
営業利益	785	11.1%	98.1%	800	11.4%
経常利益	784	11.1%	98.0%	800	11.4%
当期純利益	483	6.8%	104.3%	463	6.6%

2014年12月期業績予想

(百万円、%)

	2014年12月期 業績予想							2013年12月期 通期	
	上期	構成比	下期	構成比	通期	構成比	増減比	実績	構成比
売上高	4,077	100.0%	4,431	100.0%	8,509	100.0%	20.6%	7,055	100.0%
営業利益	414	10.2%	486	11.0%	900	10.6%	14.6%	785	11.1%
経常利益	412	10.1%	486	11.0%	898	10.6%	14.6%	784	11.1%
当期純利益	258	6.3%	285	6.4%	543	6.4%	12.5%	483	6.8%

将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

参考資料集

第10期

決算説明会

(2013年1月1日～12月31日)

2014年2月14日

株式会社ワイヤレスゲート

(東証マザーズ：9419)

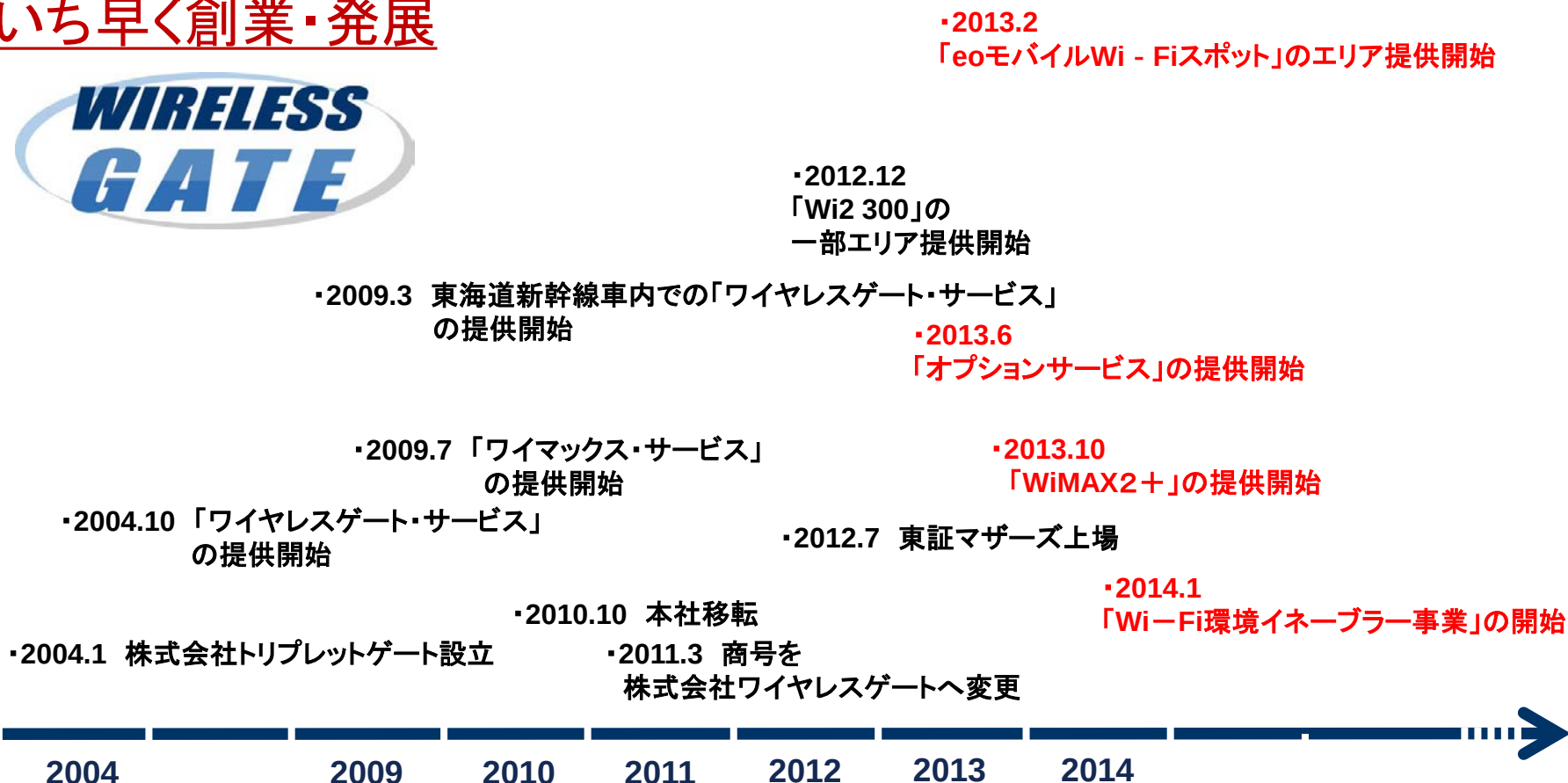


会社概要

商号	株式会社ワイヤレスゲート
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル4F
設立	2004年 1月26日設立
代表取締役CEO	池田 武弘(工学博士)
資本金	833,820千円 (2013年12月31日現在)
従業員数	13名 (2013年 12月31日現在)、平均年齢36歳
主要取引先	株式会社ヨドバシカメラ、住友商事株式会社、 UQコミュニケーションズ株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、 NTTコミュニケーションズ株式会社、株式会社ケイ・オプティコム など
事業内容	・ワイヤレス・ブロードバンド事業 公衆無線LANサービス、モバイルインターネットサービス ・ワイヤレス・プラットフォーム事業 ・Wi-Fi環境イネーブラー事業等 コーポレートサイト http://www.wirelessgate.co.jp/ IRサイト http://www.wirelessgate.co.jp/ir/ サービスサイト http://www.wi-gate.net/ (携帯、PC)

沿革

ワイヤレス・ブロードバンド社会の到来を見越し、 いち早く創業・発展



サービス紹介

サービス紹介

Wi-Fiスポット約4万スポットが利用可能

プラン	月額料金	概要
	380円	マクドナルド、スターバックス、ルノアール、東海道新幹線（東京～大阪間）のN700系車内等、JR主要駅、主要空港、空港リムジンバス、高速バス、商業施設などで使えるWi-Fiサービス
 年間パスポート	3,880円	UQ WiMAX とワイレスゲートWi-Fi が使い放題
	3,980円	ドコモ LTE Xi（クロッシィ）とワイレスゲート Wi-Fi が使い放題

WiMAX2+

2013年10月31日よりサービス開始



プラン	月額料金	特徴
ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX ツープラス ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX 2+	※ 3,880円 ※2年契約でおトク割525円／月を適用の場合の月額料金（最大25か月）	3つのモードが利用可能 ▪ WiMAX2+（ハイスピードモード） ▪ WiMAX（ノーリミットモード） ▪ au4G LTE（ハイスピードプラスエリアモード） ・ハイスピードプラスエリアモード利用時は、月額1,055円が掛かります。

オプションサービス

2013年6月よりサービス開始

プラン	月額料金	特徴
電話リモートサービス 	480円	PCやスマートフォンについて365日問合せが可能 操作方法や活用方法などを電話やリモートでサポート

新規事業について

新規ビジネス領域を俯瞰すると



2つの通信の柱

WWAN(移動体通信) : ライセンスバンド

X

WLAN(Wi-Fi) : アンライセンスバンド

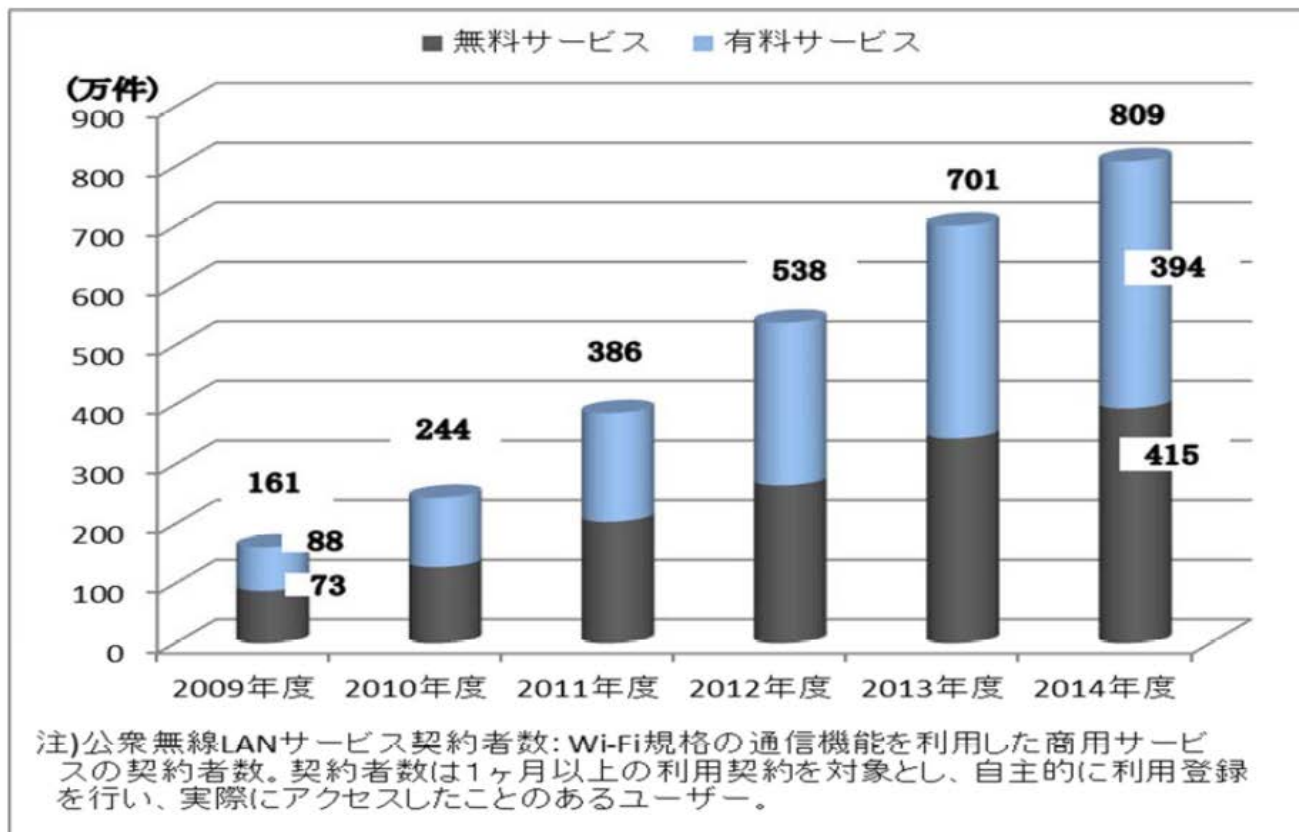
- 単独でも儲かる事業としてのWi-Fi新規事業
- 移動体通信MVNO事業とのベストミックスの要素としてのWi-Fi新規事業

今がスタートの絶好時期

- Wi-Fiは時代の要請
デバイス・通信需要、ビッグデータのビジネス活用
(広告、需要喚起)
- Wi-Fiは、そもそも世界共通の民生指向
アンライセンス、オープン指向
- グローバル化(デバイス、ソリューション、サービス)
- クラウド時代の到来で実現可能に

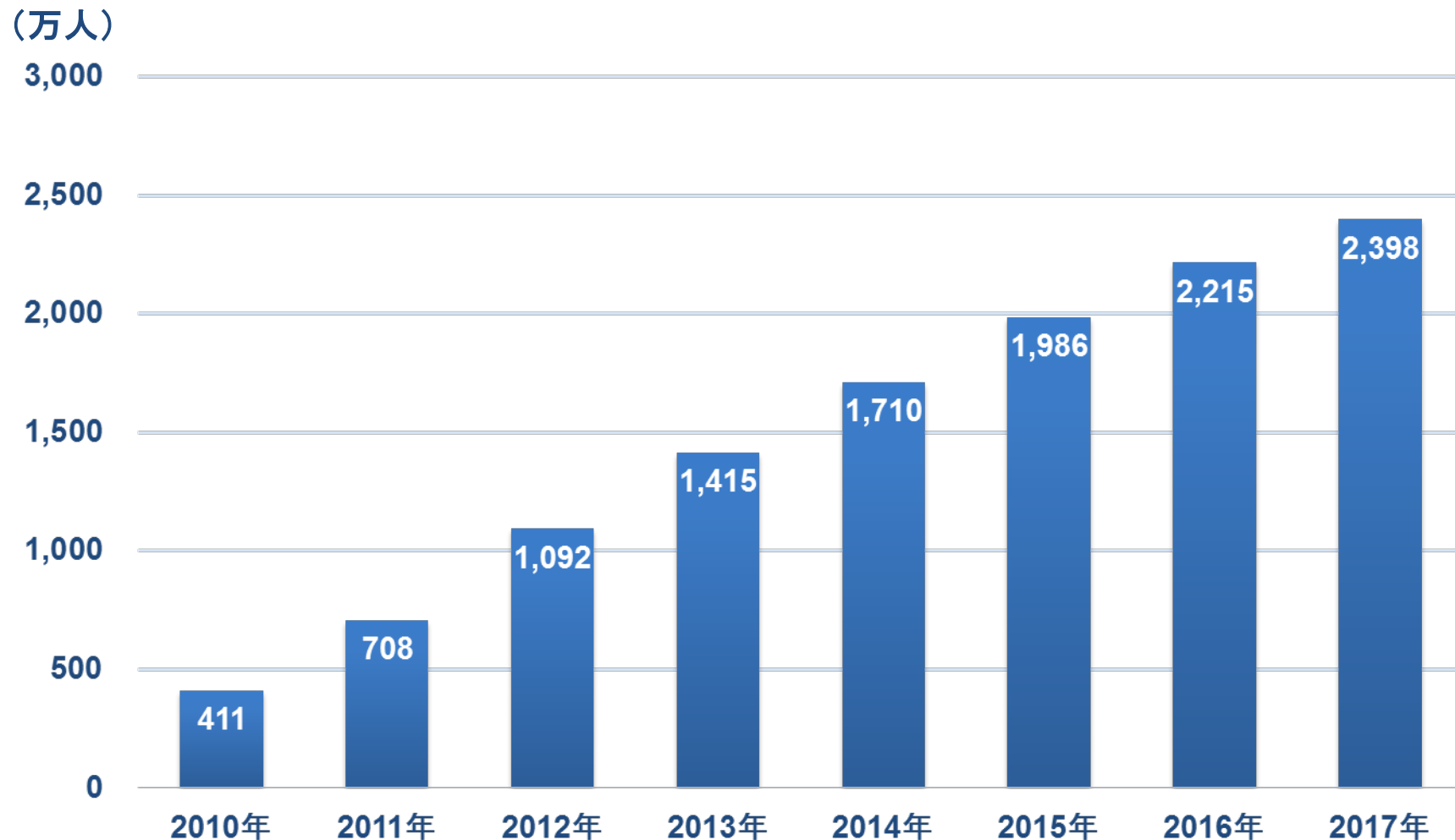
公衆無線LAN サービス契約者数需要予測(Wi-Fi サービス)

公衆無線LAN を主たる事業とする事業者のほか、自治体や商店街が主体となって無線LANを提供し、観光客の誘致や集客力の向上に活用する事例が増加傾向



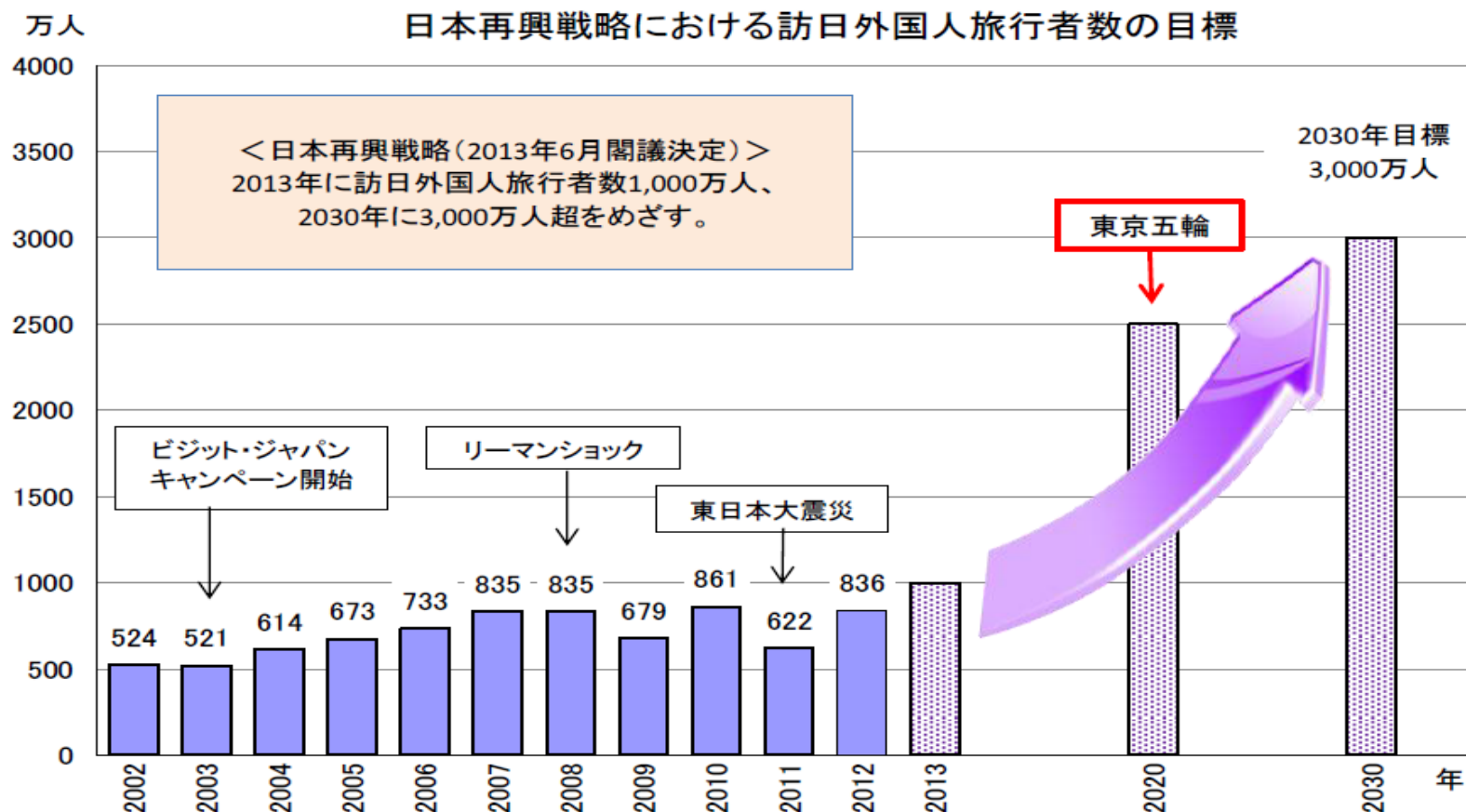
出典: (株)ICT 総研「公衆無線LAN サービス市場に関する需要予測」(平成23 年)

公衆無線LAN市場の加入者数予測



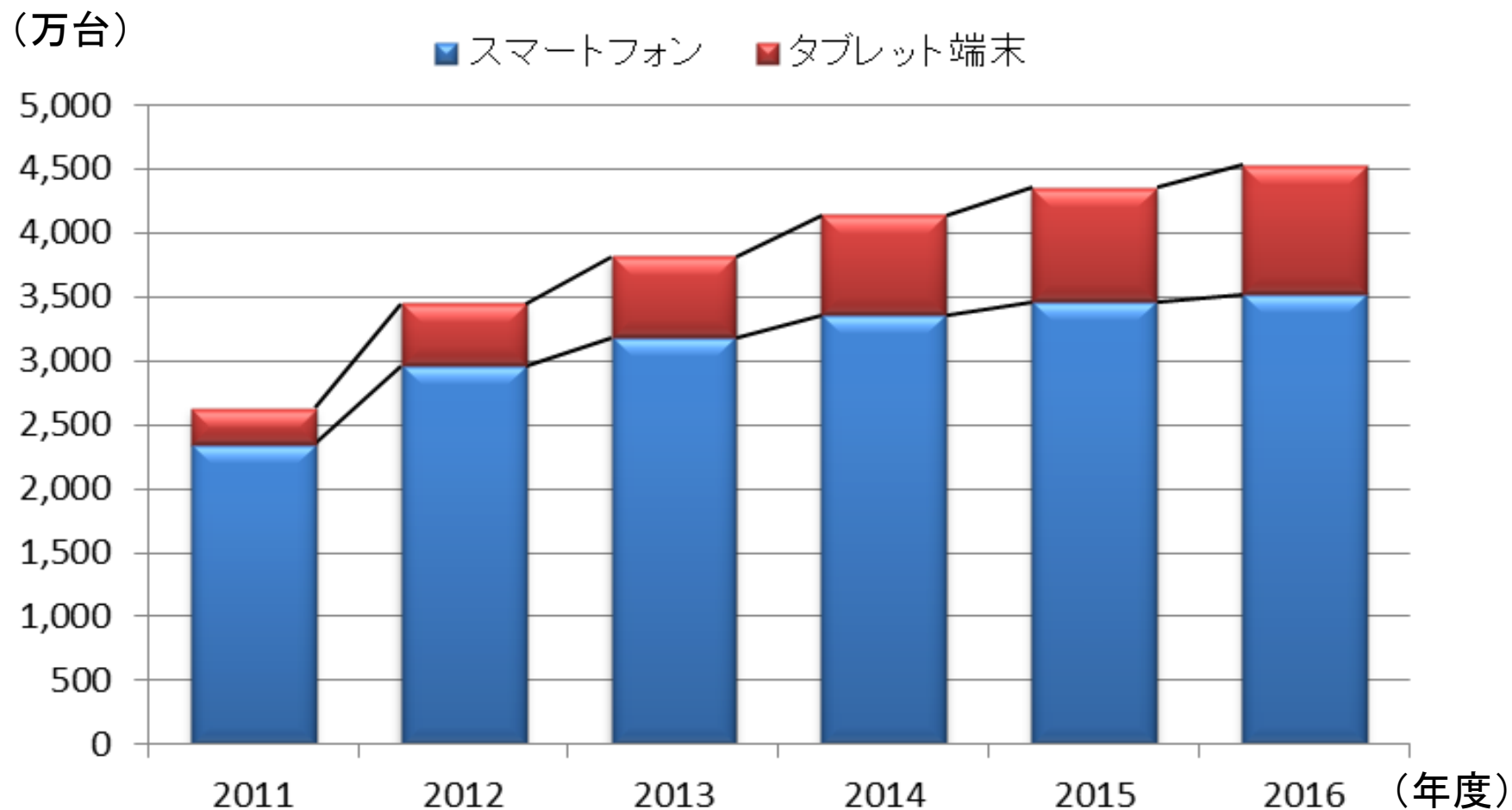
★出典：NRI

日本政府の訪日外国人旅行者数の目標



(出所) 日本政府観光局 (JNTO)、「日本再興戦略」および「戦略市場創造プラン (ロードマップ)」をもとに当社作成
(注) 2013年、2020年、2030年は目標値

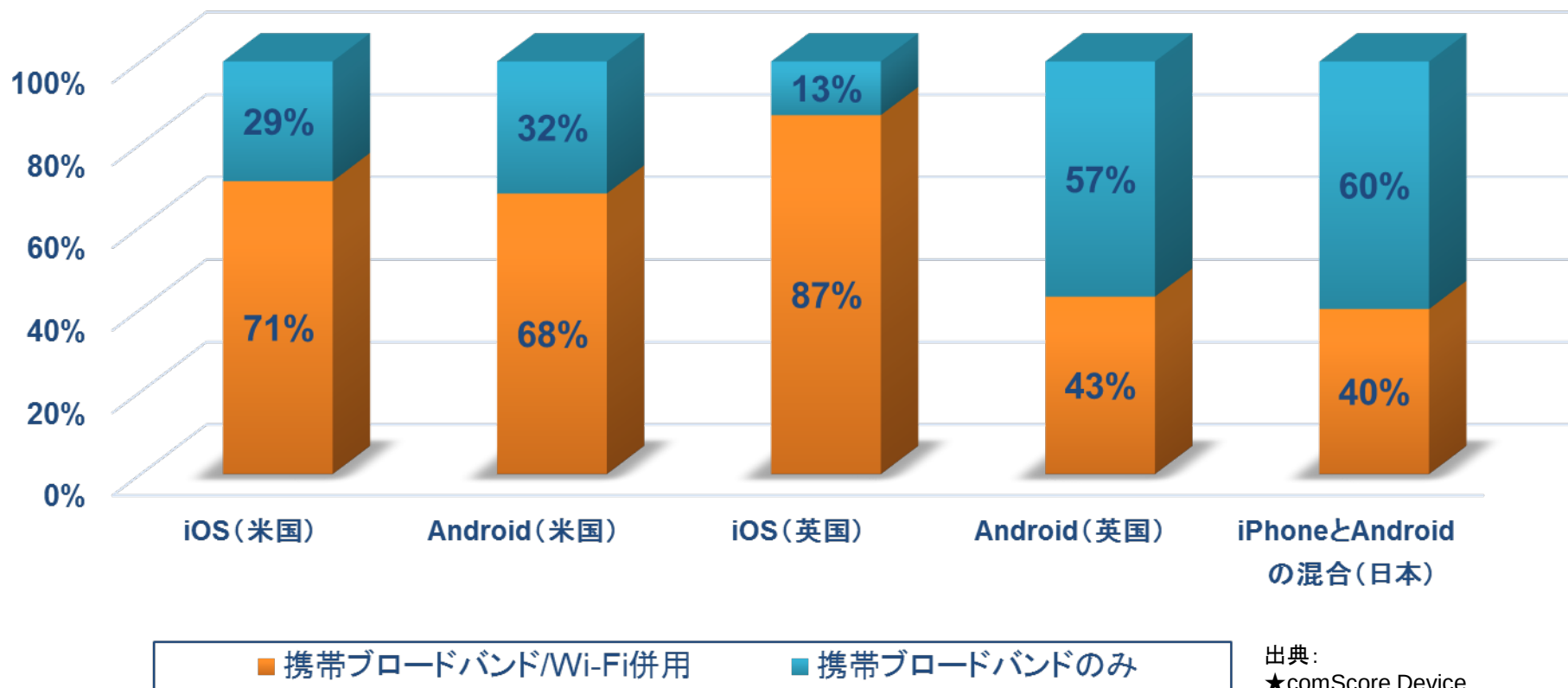
スマートデバイスの国内出荷台数予測



(出所)ICT総研 『2013年度版 スマートデバイス需要動向調査』 (2013年6月)

米国・英国・日本における無線LAN普及状況

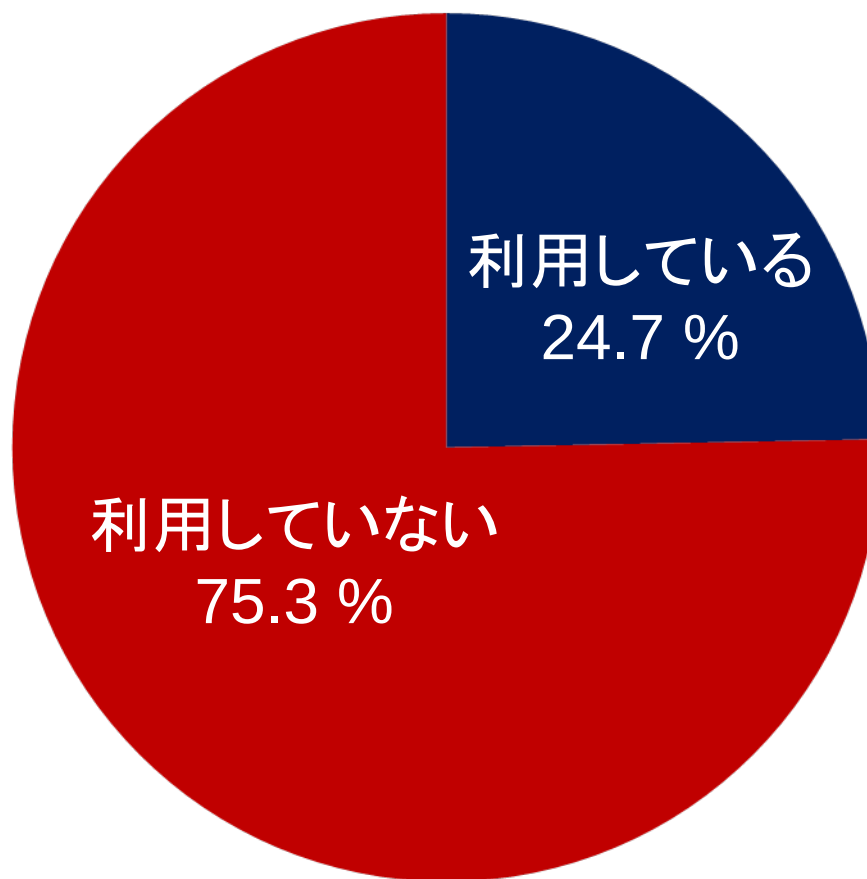
- スマートフォンからのWebアクセスに利用する無線アクセス手段



出典:
★comScore Device
Essentials (2012年4月発表)
★日本についてはKDDI調べ

スマホ利用者の公衆無線LAN利用割合

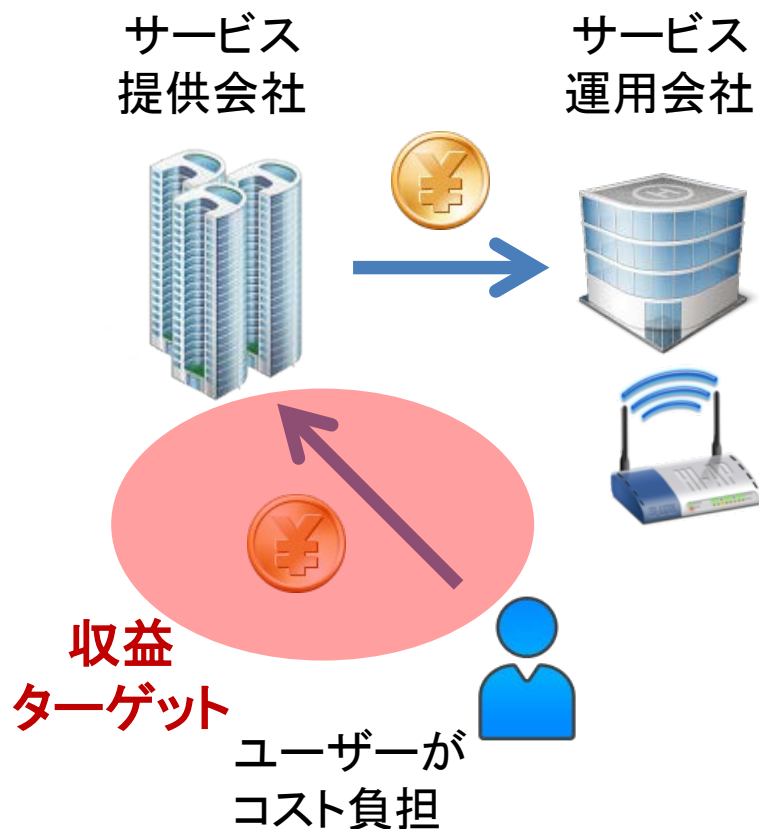
大きな潜在市場



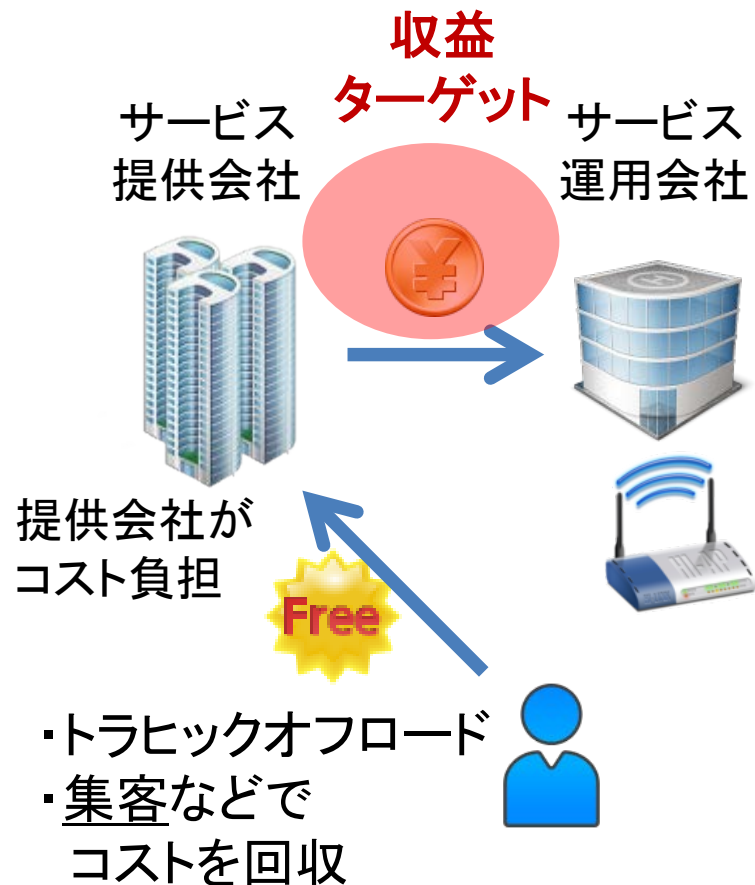
(出所)ICT総研 『公衆無線LANサービス利用動向調査』(2012年10月)

有料Wi-Fi・無料Wi-Fiモデル

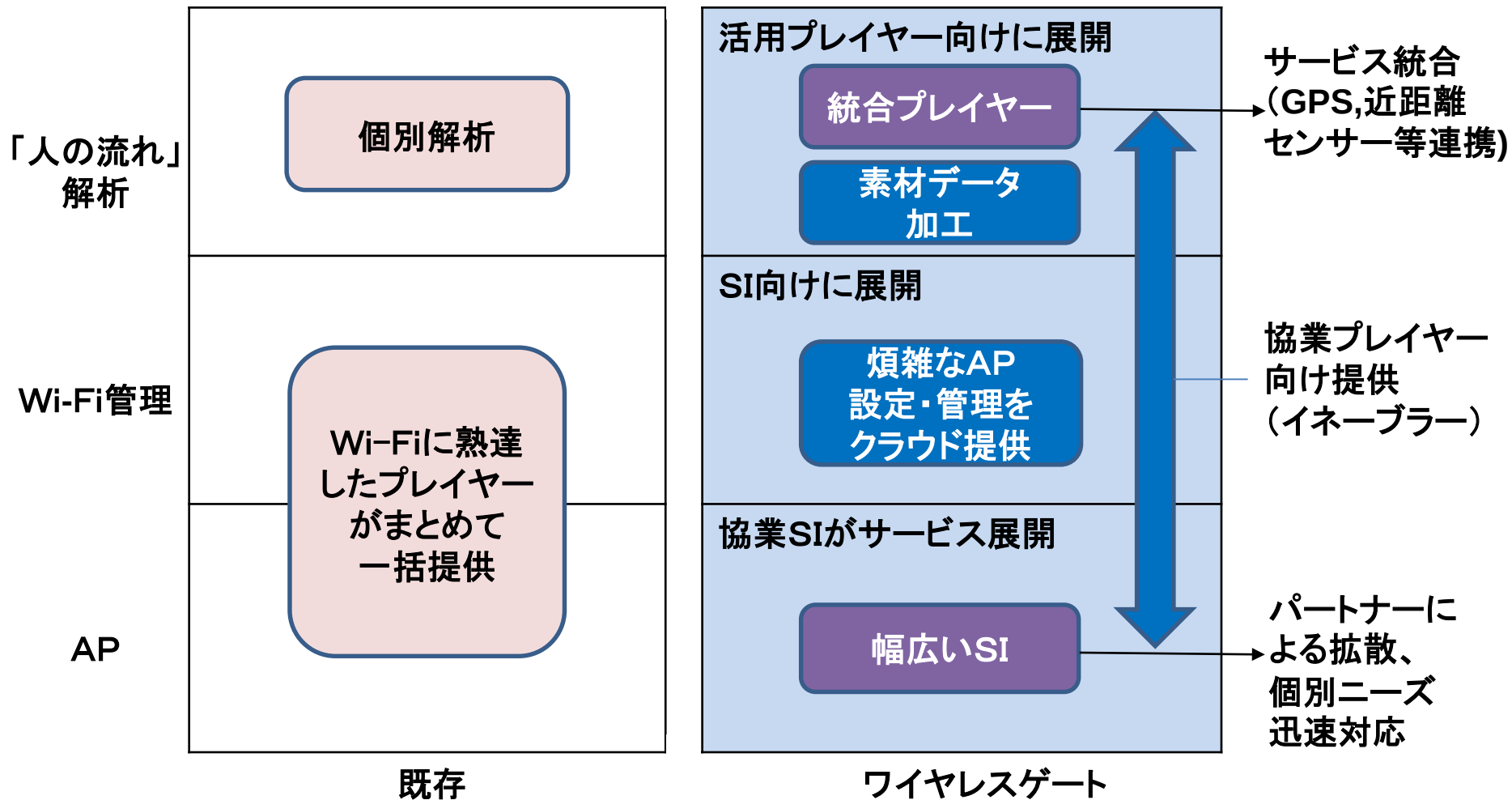
有料Wi-Fiモデル



無料Wi-Fiモデル



ワイヤレスゲートのWi-Fi事業ポジショニング



経営理念



「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」

用語集

用語	読み	解説
MVNO	えむぶいえぬおー	仮想移動体通信事業者のこと インフラを自社では持たず、通信事業者から借り受けて通信サービスを提供する事業者のこと
ワイヤレス・ブロードバンド	—	インターネットをする際にケーブル等の線を接続せずに無線電波にて通信を行うこと
Wi-Fi	わいふあい	無線通信規格の一種
Wi-Fiスポット	わいふあいすぽっと	Wi-Fiにて通信を行えるスポット 例)喫茶店、ファーストフード店、駅構内、東海道新幹線、空港など
WiMAX	わいまっくす	無線通信規格の一種 日本国内ではUQコミュニケーションズ株式会社等が提供している
WiMAX2+	わいまっくすつーぷらす	無線通信規格の一種 従来のWiMAXをより高速化し、また高速移動中でも通信できるよう拡張したもの
ローミング	—	契約している通信事業者のサービスを、その事業者のサービス範囲外でも、提携している他の事業者の設備を利用して受けられるようにすること
LTE	えるていーいー	Long Term Evolutionの略称であり、第三世代(3G)データ通信を更に高速にした次世代携帯電話の通信規格 無線でありながら、光ケーブルなどの有線ブロードバンドサービスに迫るスピードで高速データ通信を行うことを可能とする
アグリゲーター	—	自らはアクセスポイント等の整備を設置せずに、各アクセスポイントを設置している事業者の複数の無線LANサービスを1つの認証で提供していること
ID・パスワードの認証プラットフォーム	あいでいー	IDとパスワード情報から当社グループのサービス契約者であることを認証するためのシステム
課金プラットフォーム	—	当社グループのサービス利用者からサービス利用料金を徴収する為の課金システム(クレジットカードにより利用料金を徴収)
スマートフォン	—	iPhoneやAndroidなどを代表とした多機能な携帯電話のこと 携帯電話とパソコン・PDA(携帯情報端末)の機能を組み合わせたもの
タブレット	—	平板型でキーボードは付いておらず、液晶の画面に指先をあてながら操作する「タッチパネル」が採用されており、ノートパソコンより小さく軽いため、片手で持ちながら利用できる
3G	すりーじー	第三世代移動通信システム 例)FOMA
4G	ふおーじー	携帯電話やスマートフォンで利用される無線移動体通信技術の第四世代を指す 例)LTE-Advanced、WiMAX2+
Xi	くろっしー	NTTドコモが提供する高速データ通信規格LTEのサービスブランド名
G Free	じーふりー	銀座地区無料公衆無線LAN
イネーブラー	—	協業事業者への付加価値提供者
WWAN	だぶりゅーわん	Wireless Wide Area Networkの略 無線通信による広域データ通信ネットワークのこと
WLAN	だぶりゅーらん	Wireless Local Area Networkの略 無線LANのこと
ビックデータ	—	インターネットの普及や、コンピューターの処理速度の向上などに伴い生成される、大容量のデジタルデータ
クラウド	—	コンピュータリソースやシステムを自前で保有せず、インターネット上のサービスとして活用する新たなサービス形態
デジタルサイネージ	—	表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や情報を表示する広告媒体

将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。